研究課題名	炎症性腸疾患に対する診断と内科的治療に関する検討
研究の意義・目的	潰瘍性大腸炎やクローン病といった炎症性腸疾患は本邦で年々増加しており、日常診療においても的確な診断と治療の必要性が高まっています。また近年では炎症性腸疾患の内科治療は新しい治療法や薬剤が登場することにより急速な進歩を遂げ、治療成績は改善されつつあります。炎症性腸疾患に対する診断と内科的治療の現状について検討し、問題点や今後の課題を明らかにすることで、より質の高い診断・治療に繋がると考えます。
研究を行う期間	承認後　～　2029 年３月 31 日
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2007 年４月１日～2026 年３月 31 日に大阪公立大学医学部附属病院の消化器内科で、炎症性腸疾患に対して診断、治療を受けた患者さんが対象です。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	炎症性腸疾患の診断精度・治療成績の検討のため、該当する患者さんの検査データ(血液検査、内視鏡検査、CT 検査)、診療記録を使わせていただきます。
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名(提供元について)	この研究は大阪公立大学医学部附属病院消化器内科で行いますが、他の機関に診療情報を提供する場合がございます。その際は、新たに倫理委員会の承認を得たうえで行い、特定の個人を識別できない形で提供します。
試料・情報を利用する者の範囲	この研究は大阪公立大学医学部附属病院消化器内科のみで行います。
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	細見　周平　大阪公立大学大学院医学研究科　消化器内科学 住所　545-8585　大阪市阿倍野区旭町 1-4-3 電話　06-6645-3811 FAX　06-6645-3813 メールアドレス：shuhosomi@omu.ac.jp